

会 議 録

会議の名称	平成25年度 第1回社会教育委員会議
開催日時	平成25年6月3日(月)午後2時00分～午後4時00分
開催場所	所沢市役所7階 研修室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 社会教育関係団体の補助金について (2) 社会教育関係団体の支援策について
会 議 資 料	資料1 平成25年度社会教育関係団体補助金(交付金)一覧 資料2 平成24年度後援名義使用許可申請一覧 資料3 平成24年度公民館登録サークル数一覧 資料4 生涯学習推進センター人材バンク登録状況 資料5 市民活動支援センター登録団体一覧 資料6 所管部署別の任意団体設置状況 資料7 所沢市地域福祉計画(平成17年策定)について 資料8 所沢市地域福祉計画策定に関わる市民意識調査(平成14年9月実施)まとめ【抜粋】 資料9 市民団体調査結果(平成22年度政策企画課にて調査) 資料10 アンケート結果一覧(補助金団体) 資料11 広報の状況について 資料12 生涯学習広報誌「翔びたつひろば」 資料13 生涯学習推進センターHP 資料14 市民活動支援センター「ところんweb」 資料15 市民活動支援センター「市民活動支援センター通信」 資料16 埼玉県HP 生涯学習文化財課のページ 資料17 京都市生涯学習情報検索システム 京まなびネット
担 当 部 課 名	教育長・佐藤徳一、教育総務部長・平野澄彦、教育総務部次長・斉藤雅裕 生涯学習推進センター所長・比留間嘉浩、文化財保護課長・富田一成、 スポーツ振興課長・内堀耕介 教育総務部社会教育課 社会教育課長・浅野浩一、主査・原初枝、主査・古田晃一、 主査・橋本浩志、主任・石井のぶ江 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

所沢市社会教育委員会議 出席一覧

平成25年6月3日(月) 14時00分から 市役所7階研究室

選出根拠	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	古屋 正明	所沢市立小中学校校長会 (三ヶ島中学校長)	出
学校教育関係者	渡辺 由美子	所沢私立幼稚園協会 (第三文化幼稚園園長)	出
社会教育関係者	越川 輝代子	所沢市文化団体連合会 副会長	出
社会教育関係者	青木 幸子	所沢市子ども会育成会連絡協議会 副会長	欠
社会教育関係者	佐野 喜代子	所沢市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 (ガールスカウト埼玉県第36团团委員長)	出
社会教育関係者	古市 欣生	所沢市レクリエーション協会 副会長	出
社会教育関係者	日向 貴一	所沢商工会議所 青年部会長	出
社会教育関係者	加藤 和伸	所沢青年会議所 理事長	欠
社会教育・家庭教育関係者	斎藤 高史	所沢市PTA連合会 会長 (所沢中学校PTA会長)	出
社会教育・家庭教育関係者	成田 桂子	所沢市連合婦人会 副会長	欠
家庭教育・学識経験者	染谷 哲夫	秋草学園短期大学教授 幼児教育学科	出
学識経験者	田部 真一	淑徳大学非常勤講師 (元市内小学校長)	出
学識経験者	前橋 明	早稲田大学人間科学学術院教授	出
学識経験者	有地 好登	日本大学芸術学部教授 美術学科主任	出
学識経験者	関 直規	東洋大学文学部教育学科准教授	出

選出根拠 = 社会教育法第15条第2項

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
社会教育課長	【 1 開会】
教育長	【 2 あいさつ】
	<p>市内にある幼稚園・保育園、小・中学校、高校、大学は、順調な滑り出しと聞いている。特に、小中学校、幼稚園では春の運動会がほぼ全部終わり、地域の皆様と一緒に子どもたちの成長をみていただいている状態である。昨年は、この会議で社会教育団体のこれからのあり方を協議いただき、本年度は審議をしていただくということで、長丁場になると思うが、各委員それぞれが団体の意見をとり入れ、個人の意見もふまえてより良いものをつくっていただきたい。</p>
議長	<p>前回の会議の後、副議長、関委員、事務局とで、皆様から出された疑問や質問に応える資料をほぼ用意できたと思うので、そろそろ論点を絞って進めていきたいと思う。ご協力をお願いしたい。</p>
社会教育課長 事務局	<p>人事異動に伴う職員の自己紹介をした。 続いて、資料 1 ～ 17、各課からの配布資料の確認を行った。</p>
事務局	【 3 議事】
	<p>(1) 社会教育関係団体への補助金について 資料 1 に沿って、事務局より説明が行われた。 意見を求めたところ、質疑はなく原案どおり承認された。</p> <p>(2) 社会教育団体の支援策について 資料 2 ～ 6 (団体の情報)、 7 ～ 10 (団体の状況や課題の抽出)、 11 ～ 17 (広報の情報) に沿って、事務局より説明が行われた。</p>
議長	<p>これらの資料は、前回の会議で出された質問を全て網羅しているのではないか。社会教育団体への支援の方法として、国は連携ということ 키워ドにしており、前回の会議で、連携のためには団体の情報が欲しいということで、資料が多くなったということであ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	<p>ろう。しかし、これらすべてを対象として支援策を考えるのは不可能ではないだろうか。前回、一点突破という言葉があったが、資料 10 の補助金交付団体のアンケート結果を基本的資料にして、課題の解決策や各団体への支援策を議論する方向ですすめたいと思うが、いかがか。</p> <p>（一同了解）</p>
委員	<p>事務局へ質問したいが、資料 5 の市民活動支援センターに登録して活動しているグループに、支援センターから何か補助が出ているのか。</p>
事務局	<p>補助というのは、金銭的な補助ではなく、ホームページに情報を登録して公開し、団体同士の連携を図るような交流会や会議を行うというような形で活動の支援をしているようだ。</p>
委員	<p>もう一つ、資料 10 の補助金交付団体と同じように、支援センターに登録しているような団体にも、補助金の申請をしてもいいという案内はしているのか。その上で、補助金団体を決定したという流れになっているのか。</p>
社会教育課長	<p>特に、支援センターに登録している団体への補助金申請の案内はしていない。</p>
委員	<p>補助金交付団体は、きちんと広報などで補助金の申請について案内したうえで、手を上げて申請してきた団体と理解していいのか。</p>
社会教育課長	<p>当市では、広報して補助金申請を受けるという形はしていない。従来から支援をしてきた活動に対して継続的に行っている。</p>
委員	<p>補助金の交付について、時の流れや社会の流れ、活動グループの変化に対応できているのか。昔ながらのグループへの対応のままで</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	いいのかという論議が、過去にあったのか。
社会教育課長	<p>様々な団体があるが、団体数の減少についてや、資料 10 に書かれているような様々な課題について、これまで議論されてきた経緯がある。補助金交付のことも含めて、今回の審議の中でご意見をいただきたい。</p>
議長	<p>資料 10 を基にすることはご了承いただいたが、その前に資料について、何か質問やご意見があれば、それを受けた上で進めたいが、いかがか。</p>
委員	<p>新規に補助金を受けるには、どういう手続きや努力が要するのか。従来の上では、本当に必要だと SOS を発している新規の団体は、どうすればいいのか教えていただきたい。それをここで審議して決められるということで納得したが、いつもこのままでは新しいところは入れない。それでいいのかどうか。</p>
議長	<p>補助金の現状や今後のことについて、いかがか。</p>
社会教育課長	<p>今回の資料 1 ～ 6 を示したのは、前回の意見を受けてということもあるが、補助金を出すという支援の他にも様々な支援の方法があるということを示したとご理解いただけたと思う。どんな団体に対して、どんな支援ができるのかということが、今回ご審議いただくことの一つだと思っている。全市的に補助金を増やすことが難しい中で、補助金を交付するということではない支援策についても、ご検討いただきたい。また、今言われたように、補助金交付団体が今のままでいいのかということも含めてご審議いただきたい。</p>
議長	<p>それでは、資料 10 の中からいくつか課題を見つけ、何か支援策や今後の方向が見出せればと思うので、まずは自由に発言していただきたい。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>この資料の補助金団体は会員数や参加者が多く、いろいろな活動内容や課題が書いてあるが、補助金交付は単年度であるので、これに対してどのような評価があったのかといった報告書のようなものは、毎年提出されているのか。</p>
社会教育課長	<p>市に実績報告がどのような形で出されるかということか。</p>
委員	<p>報告の中の課題に対して、どういう努力をしたかとか、その結果どうなったかといった報告がないと、補助金を出すことはできないと思うが、各団体から毎年提出されたものはどのように精査しているか。</p>
社会教育課長	<p>補助金の実績報告は各団体から出されており、基本的には補助金を活用して行った様々な事業に対する報告になっている。各団体の運営に関する報告ではないので、どのような課題があってどのように解決したかということについては、この場に参加している団体の方もいるので、議論の中で深めていただきたい。</p>
議長	<p>各団体で共通している課題等もあるので、この辺を話題にしていくのはいかがか。</p>
委員	<p>社会教育関係団体フォーラムを2回行って、6団体の活動報告と抱えている課題を直接伺う機会があった。それと貴重な資料10を併せて思いつくことの一つに、広報活動の悩みが共通して出ていた。価値のある全市的な活動をしていても、市民に充分浸透していない。どうやって浸透すればいいのか、ホームページやWebの活用を含めてノウハウがないので、専門的な助言や指導をいただけたら助かるというものであった。</p> <p>また、そもそもフォーラムを企画した趣旨として、他団体との連携やつながりが、今まで弱かったのではないかということがある。それぞれの団体が、どうすすめるべきかわからなくなったとき、お互いの持つ知恵を共有するとか、あるいは、市民を助けたり支援</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>する立場にある人たちが悩んだときに、どこを頼りにすればいいかという部分のサポートが弱くて、負担が特定の人にかかってしまうことがあるのではないかと。他の団体と、精神的な面も含めてサポートし合う「連携」というのを求めているということも印象的であった。</p> <p>さらに、この資料のキーワードとして、担い手とか人材の問題が繰り返し出てきた。長く実績ある団体が高齢化してきて、持っている経験や知恵を次の世代へうまくバトンタッチできていないとか、市民の意識の変化により、地域や社会とのつながりを面倒くさがるとか、子ども自身が忙しくて参加できないといったことも含めた、担い手の不足という共通する悩みもあった。このような団体は、所沢の社会教育の中心的な担い手であり、東日本大震災があって地域の絆が改めて問われている状況で、補助金を受けているような、市民や行政との信頼関係の蓄積もあるこのような団体を活性化していくことで、次の展望がみえてくるのではないかと。</p>
議長	<p>今の話より、3点挙げられる。一つは、何かのときの広報の方法。もう一つは、団体同士の連携。もう一つは、担い手の不足。この他に何か共通している項目や、資料10から窺えることはあるか。</p>
委員	<p>私も社会教育関係団体フォーラムに2回参加したが、二つ感じたことがあった。</p> <p>一つは、過去からの活動で、各団体の中で人的なネットワークが非常にできていること、もう一つはそれが逆に作用したのか、その団体が継続的に活動し続けていることで、外に開いて他から新しい人材を吸収する要素があるかどうかは課題であることを感じた。同じようにして、資料10の中の課題の部分では、会員の高齢化、後継者の不足、若い指導者の不足があげられ、先ほどの話との関連で言うと、継続はできているが、新しい人材を吸収していくためにはどうしたらいいのだろうか、それが課題になっているのではないかと。ただ、継続してくるとネットワークが強くて、それなりに大きな意味があるということが伝わってきた。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>二つめは、議長がまとめたことと同じで、広報・連携が課題ではないかと思う。</p>
議長	<p>資料を見ると、これからについて、各団体は随分工夫していることがわかる。それぞれの団体は公共性があると感じた。連携と少し意味合いの違う、それぞれの団体が「ひらく」という観点があげられた。</p>
委員	<p>会場の確保という点についてだが、抽選によって行っているので、文化祭の日程を何年も前から設定しているにも関わらず、抽選の結果によっては会場を確保することができないという現状がある。できたら課題のひとつとして、会場の確保というのをに入れていただきたい。</p>
議長	<p>活動が活発になれば、そのような問題が出てくると思う。特に文化団体連合会は、所属団体数が多いので、なかなか全ての団体が安定的に会場を確保することが難しいということだが、具体的には文化センターミュージズの予約が取りにくいということか。</p>
委員	<p>そのとおりである。</p>
教育長	<p>少し前にミュージズにてこのような問題があった。所沢の中学校は15校あり、所沢の合唱は非常に盛んであるが、各学校よりミュージズの大ホールを土日に使いたいという要望が多くあった。ミュージズの土日の利用率が大変高いため、土日には使用できず、最近では火曜に使っているという現状がある。毎年、土日に大ホールを使いたいという団体が多くいれば、このようなことが起こるということである。</p> <p>このような状況を受け、各学校を三つのグループ、5校ずつに分け、抽選で土日を確保できたグループは、のち2年間は応募しないというようにしたところ、比較的希望どおりに当たるようになった。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長（続き）	<p>今、文化団体連合会をはじめ、多くの団体の希望が、春と秋に集中しているが、その中で、いつもその期間の土日を使いたいということになると、まず使えないだろう。一時期は、市民のために作られた施設なのに、他市の子ども達が抽選に当たり、市内の子ども達が抽選から外れることが長く続いたが、現在は土日ではなく火曜にも行っているというのが現状である。</p>
副議長	<p>他にも、子ども写生大会も、市民ギャラリーを借りられなくて困っており、計画を立てにくいことが、この資料 10 の中にあるが、市内中の子ども達が参加している写生大会であるのに、作品を飾る計画を立てられないのは可哀相である。</p>
議長	<p>ミュージズの抽選について、例えば市内が優先されるというような、抽選についての市内と市外の区別はつけているのか。</p>
教育長	<p>今から 6・7 年前は、土日の優先枠というものを設け、3 週間ほど優先して予約できた。しかし、この 10 年ほどの間に、ミュージズでは世界レベルの演奏者に依頼することが多くなり、2・3 年前から依頼して、秋の土日に公演するということが増えたために、子どもたちが予約することができなくなった。ミュージズとしては、優先予約したいとは考えているが、かなり厳しく計算して運営しているので、なかなか実現することができない現状がある。</p>
議長	<p>どんな団体も抽選となるのか。</p>
教育長	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>優先枠には入っているのだが、抽選に行くと、靴の売り出しも同じように優先枠に入っているようだ。その辺りが解せなく、もう少し文化祭の方を優先的に扱っていただきたい。長年にわたり開催していることから、文化祭の総合フェスティバルは優先的に予約できているが、他の催しは抽選になっている。先日も、展示の会場につ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>いて、市長に要望を出したところであるが、文化団体連合会に加盟する 21 団体が、一つでも多く優先枠に入るようにしていただけたらと願う。</p>
教育長	<p>文化団体連合会の美術部門からは、もう 10 年来ご要望をいただいております、書道・華道など多くの連盟が、一箇所の会場で美術展を行うことができないかということであるが、数が多いために、4 階にある会場と 1 階のホールに分かれてしまう。これは、未だに解決できていない問題となっている。</p>
委員	<p>このような広範囲に渡る資料をご用意いただき、事務局ならびに関係委員の皆様へ感謝を申し上げます。社会教育委員として取り扱う範囲が明確になったと思う。</p> <p>私は人間地区社会教育協議会に出席させていただいているが、その協議会より、本日配布された「さわらび」という広報誌を発行している。その 2 ページ目に、社会教育委員部会の部会長として、これからの課題をまとめた。社会教育は学校・家庭・地域の連携が大切と言われているが、市民の自己中心主義の蔓延、個別活動の限界、学校教育と社会教育の壁、縦割り行政の弱点など、美しい「絆」という言葉の陰に、まだまだ取り組むべき課題は山積している。これは、部会の中から出た意見である。先ほど、議長からいくつか挙げられたが、連携ということは大事と言われているのにも関わらず、まだまだ進まないという現実がある。補助金が出ている支援団体を見ると、学校教育と連携して活躍されている所も多いが、もっと連携すべきである。具体的に例えば、学校教育の中に、ボーイスカウト・ガールスカウトの組織の中の規律訓練を取り入れてみる、その結果、学校や子どもたちが、ボーイスカウト・ガールスカウトの良さが分かるだろうし、逆にボーイスカウト・ガールスカウトの方も、学校教育の良さが分かるだろう。</p> <p>このような形で、もう少し広い範囲で団体同士が連携して、お互いに利用し合うことが大切であり、そのためには行政側も、団体を紹介してつないでいくことをしていけば、後継者不足という問題解</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	決にも役立つのではないかと感じた。
議長	先ほどの視点でいうと、広報、つながる、ひらくといった視点に絞られてきたようだ。
委員	<p>広報という関連で申し上げますと、私はレクリエーション協会を代表してこの会議に出席しているが、ウォーキングの会を主催している。市より助成金をいただいていることもあり、常に市民へ開かれた会でありたいということで、随時、新入会員を募集している。その募集に一番効果があったのは、「翔びたつひろば」であり、「翔びたつひろば」を見てお問い合わせくださる方は、割と長く参加してくださる方が多い。このように「翔びたつひろば」は、多くの市民の方が参考にしていることがわかる。ただ、掲載するには、1 団体につき、1 年間に 2 回までというように、掲載制限がある。先ほどの会場が足りないというのと同じで、紙面が足りない。「翔びたつひろば」の担当の方は苦労されていると思うが、他の団体も同じ課題を持っている。市から助成金を受け取っているということは、市より価値があると認められているということであるから、そのような団体に対しては、もう少し枠を広げていただけたと思う。カラー刷りをやめて、ページ数を増やすことができるのではないだろうか。ぜひ、ご検討いただければと思う。</p>
副議長	<p>今、お話しいただいた課題について話したい。ガールスカウトの 36 団にいますが、個人的なつながりから頼まれて、並木小学校で春と秋に偶数学年・奇数学年にわけて行っている、1 泊の武蔵野キャンプというものがあるが、夜に体育館で行う遊びについてお手伝いをした。当時、保護者の方たちは何か道具がないと遊べないと思っていて、その準備がとても大変だった。そこで、ガールスカウトの子どもたちが、自分の身体を使うだけの、使うとすればロープや新聞紙など、準備の要らない道具で遊びを教えたら、非常に喜ばれた。他の学校にもそのようなことをしたいと思ったが、その術がないのでできない状況でいる。連携というつながりができると、お互いに</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
副議長（続き）	<p>もっと活発な活動ができるのではないかと。子ども会とも学校とも、ぜひ連携したいと思っている。フォーラムで知り合った団体には、個々でアクションをかけたりにしているが、広い範囲でつながりがもてたら良いと切に願っている。</p>
議長	<p>貴重なご意見で、想いだけでなく、具体的に何かできそうな気配を感じる。先ほど、ボーイ・ガールスカウトと学校とで何か連携ができないかと話があったが、ガールスカウトからも何か連携ができないかという話があった。つながるといことが、それぞれの人材育成につながっていくであろう。ガールスカウトから広めたいと提案があったが、こことここでやってみたらどうかという‘しかけ’の案が具体的に出るとありがたい。PTAからは、いかがか。</p>
委員	<p>補助金団体を見ると、子どもとかかわる団体が多いとわかる。PTAの立場からいえば、やはり人がいなくなっている。一番大きいのは保護者が共働きで、なかなか時間がとれない点が非常に厳しい。同じように、子ども会育成会も少し減ってきている。親の都合で、そのような状況だからPTAは仕方ないが、育成会はやめるなど、あまり良いことではないがそのようになってきていると思う。あと、子どもが少ないことと、子どもの習い事が多いこともある。私も3人の親だが、あれこれ習わせていて、実はいろんな行事に行かせたいが、例えば、サッカーや野球の予定が入っていて、子どもを休ませるとチーム内でいろいろな問題を生じると思う。保護者の方に聞くと、本当は行かせてあげたいという意見が多いけれども、どうしてもスポーツのチームを優先してしまう。違う方面からの連携で、学校に関わることは優先させられるようなしくみがあればいいのではないかと。そうすると、いろいろな社会教育関係団体がもう少し連携できるのかなと感じる。</p>
議長	<p>ガールスカウトから並木小の他にも広げたいと話があったが、例えばPTAの関係で、どこかの学校でそういう行事を組むという働きかけはできるか。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>P T A 連合会には 4 4 校が加入しており、連合会の働きかけとしては、紹介はできるが、こちらからの積極的な働きかけは難しいと感じている。連合会の中でも、このようなことが議論されたということ今度の会議で報告したい。</p>
議長	<p>前向きな話をいただいた。学校関係の校長先生、その辺はいかがか。</p>
委員	<p>ガールスカウトが並木小で共に活動できるのは、その活動場所が学校ということであれば、ボーイ・ガールスカウトがこういう協力をしている学校もあると紹介はできる。自分の学校の例でいうと、毎年、武甲山に登っていて、その案内を秩父山岳連盟の方にボランティアで協力してもらって行っている。それも、人的なつながりになるのではないか。</p>
議長	<p>これも前向きな話である。P T A だけでなく、学校側と P T A と両者がこのことで連携していただいて、何か進められれば、最初の一点突破の話ではないが、新たな連携の可能性はあるのではないか。</p> <p>同じような形で、例えばこの団体同士で連携できるといった、具体的に考えられるところはあるか。</p> <p>（意見なし）</p>
議長	<p>それでは、今のような視点の必要性も再認識できたということで、いかに具体化していくかということが今後の課題であるのではないか。連携というより合同企画のようなものでもいいと思う。これは私の思いつきだが、ここの団体の代表者会を開いて、今の趣旨を話して理解していただき、具体化するというのはいかがか。</p>
委員	<p>今の議長の質問とは違うかもしれないが、P T A と学校関係など、個別の連携というのはできるかと思うが、議論を進めていかな</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>くてはいけないのは、もっと広い範囲のものではないだろうか。資料 9 を見ていると、先ほどの補助金団体と同じような課題が出ている。解決の方向を見つけていかななくてはならない。課題というのは、まずは人、担い手や広報を含めた人である。それから物、発表するような場所、そしてお金、補助金が出ているところと出ていないところの見直しはどうしているのか。全体に、お金・人・物・場所について、どう見ていかねばならないかが大事であると、資料 9 を見て感じた。</p>
議長	<p>事務局の方で、団体の代表者を集めるのは可能なのか。</p>
社会教育課長	<p>団体の代表者というのは、資料 10 の団体ではなくてということか。</p>
議長	<p>資料 10 の団体である。</p>
社会教育課長	<p>これまで昨年・一昨年と、社会教育関係団体フォーラムという形で発表いただき、お互いの情報共有をしてきたことが、一つの発表の機会の作り方であったと考えている。また、別の方法論があるかどうかということも含めて、ご意見をいただけたらありがたい。</p>
議長	<p>資料 10 の団体というのは、補助金が交付されているということから、公共性がある団体という意味で捉えている。だから、そういう団体を中心にと言ったが、それは無理だろうか。</p>
教育長	<p>私は、生涯学習に関するいろいろな総会等で話す機会がある。あらゆる団体に話すことは、団体の技術を高めたり、仲間の絆を強めたりするにはとてもいいことである。ただ、それだけではもったいない。それを何かに生かすことで、さらに大きくなって活動の範囲が広がると、言い続けている。だから、一つのキーワードで、学校、生涯学習推進センター、教育センターなど、いろいろな場所がヒントとなり、複数の団体が交流を深めていくことは大いにできること</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長（続き）	<p>だと思ふし、この4年間議長と同じような気持ちで、校長会・教頭会、PTA連合会にも話してきている。方向性としては、本当にすばらしいと感じる。それから、先ほどの並木小学校は、PTA連合会に入っていないいくつか学校の一つであることを付け加えておく。</p>
議長	<p>教育長から心強い方向性を示していただいた。つながりをどこでどうやって見つけていくかという協議の場があればという趣旨である。そういう機会ということで、この資料の団体にそんな趣旨を理解していただき、情報共有をことで、代表者会を開催できないかと投げかける方向性については、どう考えるか。</p>
委員	<p>なんらかの形でそのような方向に進めることは、賛成する。資料2の市民活動支援センターでも、団体同士の交流会であるとか、団体同士が悩んでいることに対する講習会のような形で、専門スタッフを呼んで、フリーでディスカッションするような機会がある。同じ子どもを対象とする社会教育の分野で、例えば、今、学校週6日制を復活するかどうかという議論が起きている中で、自分たちの活動を振り返って点検して、共同で何かできる道を探るなど、新しい試みも生まれると思う。市民活動支援センターでは、月1回定期的に集まり、会合するというやり方をしていると思うが、どういう形が一番やりやすく、負担にもならず建設的にできるかということを具体的に考えていくことを進めるべきだと思う。</p>
議長	<p>今の方向に反対の方はいるか。</p> <p>（異議なし）</p>
議長	<p>それでは、ここの会議の共通総意であると受け止めたい。ガールスカウトが前向きに出した声をなんとか実現できるように、PTA関係、学校関係もアクションを起こしていただけたということだった。そろそろ時間であるので、本日の協議を簡単にまとめたい。そ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	の前に言い足りないことがあるか。
委員	<p>先ほど、連携の部分で交流会を考えていくことが必要だということがあった。一番最初のフォーラムに出させていただいた。文化フェアにずっと携わっていた関係もあって、以前からガールスカウトいろいろな文化団体の代表の方も活動も知っていたが、本当に理解したのはフォーラムだった。それぞれが何をされているのかを知ることができ、自分が発表する部分も知っていただいたことが、非常に大きかった。また、教育長が話された、いろいろな活動の中で、皆さんが連携を図ってもらえたらよろしいのではないかとこの点について、交流会をするのもいいが、いろいろな団体のところに行って、実際の活動を見てみないと、おそらくわからない部分もあるのではないかと。そういう意味で、団体が団体を招待することはなかなか少ないが、つながりを持つ上でも、そういったところを含めて交流が図れればと感じた。</p>
委員	<p>話を伺ったり表を見ていると、高齢化になって担い手不足ということがクローズアップされているような感じがした。若い人が、どうしてもそういう活動に参加できるのかというしくみや方法が、きっと何かあるだろうし、何か見つけていかなくてはいけないだろうと感じた。</p>
議長	<p>それでは、何回か後には答申をまとめなくてはならないゴールが決まっている。今日の協議から出たいくつかのポイントがある。一つ目は、最後にフォーラムの有効性というのが出たが、これは広報に入ると思う。広報の工夫ということ。二つ目は、諸課題の解決としてつながるということ。合同企画とか代表者会議などを含めたもの。三つ目は開くというキーワード。様々な課題解決のためには、それぞれの団体がもうちょっと開くことが必要というようなことが、今日の話題の中心だったと思う。今日の協議から絞られたものを答申につながるように事務局でまとめていただき、関委員にも加筆修正をしていただいて、次回の協議資料を答申に向かってまとめ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>ていただくことよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
議長	<p>次回は骨子になると思う、その次あたりに、中間まとめにならないと間に合わないと思う。事務局は、それでいかがか。</p>
社会教育課長	<p>全体のスケジュールとしては、前回お話ししたように、本日を含めて3回の審議と、次年度1回目でもまとめをいただいて、次年度任期までに答申をいただくということになっている。次回までに、本日のいくつかの骨子を事務局の方で精査して、議長や委員の方々に見ていただいたうえで示しし、その骨子を掘り下げていただく形で議論していただき、まとめの文章的なものをその後に出せるようにできたらと思っている。</p>
議長	<p>関委員、勝手に決めてしまったが、事務局にご協力をお願いしたい。それでは、諮問についてはこのあたりで終了したい。</p>
	<p>【4 その他】</p> <p>事務局より諸報告を行った。</p>
議長	<p>それでは、進行議事を終わりにする。進行を事務局にお返しする。</p>
社会教育課長	<p>本日は、補助金を出している団体を中心に議論していただいた。その中で、補助金を出していない団体も視野に入れながら支援を考えるというご指摘もいただいた。そのあたりも含めて、今後の議論をお願いしたい。それでは、関係課からの諸連絡をしたい。</p> <p>（各課連絡なし）</p>
社会教育課長	<p>では、最後に閉会の挨拶を副議長をお願いしたい。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
副議長	<p>【 5 閉会】</p> <p>先日、県の社会教育委員の総会研修会に参加して、心に残ったのは、『社会教育は世の中そのものである』という言葉であった。『よき社会とは、内から湧き上がる力で、よきことをしたいと思う市民が多い社会が、よき社会だ』というお話があった。社会教育委員の仕事とは、まさにこのところを考える委員なのだということを改めて感じ、委員の責任や仕事の重さを感じた。皆さん、大変な仕事が残っているが、よろしく協議をお願いしたい。本日はお疲れ様でした。</p> <p>以上で終了</p>